

化学構造式と単品香料で学ぶフィトケミカル講座精油コース

精油の中の芳香成分について、その科学的特徴、香り、作用のメカニズムなどを学びます。

【特徴】

芳香分子をグループに分けて

①グループごとの特徴

化学構造の特徴、作用の特徴、香りの特徴など

生成経路や化学変化、劣化、代謝などトピック

②各論ではグループの代表的な成分を取りあげ

香りの特徴 単品香料で香りを知る

作用 嗅覚から神経系、心理作用、薬理作用のメカニズム

化学式に加えて、嗅覚を使って、

感覚としてもしっかりと身につけられるようにイメージを広げていきます。

成分同士の関係性やつながり、植物が生成するタイミングなどを知ることで、

「芳香分子＝植物がよりよく生きるために作り出したエッセンス」であることを再認識し、セラピーとしての意味を深めたり、ブレンドなどにも役立ちます。

1回目 共通

フィトケミカルとは

成分の機能性、色味香り

植物の生命維持と環境適応

一次代謝と二次代謝

化学の基礎1（原子、元素、分子、結合、構造と構造式など）

2回目 共通

植物化学成分の各グループ

基本骨格イソプレン単位、ベンゼン環

化学の基礎2（炭化水素の構造）

化学の基礎3（置換基、官能基）

3回目 共通

テルペン系化合物

イソプレン 分類 モノテルペン類、セスキテルペン類

4回目 テルペン系炭化水素

モノテルペン類、セスキテルペン類

芳香分子 各論

異性体について

5回目 テルペン系アルコール類

芳香分子 各論

酸化と還元について

6回目 テルペン系アルデヒド、ケトン類

カルボニル基とカルボン化 皮膚刺激や神経毒性について

7回目 テルペン系エステル 他

エステル結合 加水分解

8回目 テルペン系アルデヒド類、ケトン類、エステル類

芳香分子 各論

9回目 芳香族化合物 フェニルプロパノイド

ベンゼン環 芳香族系炭化水素

フェノールと芳香族系アルコール

芳香分子 各論

10回目 芳香族化合物 フェニルプロパノイド

芳香族系アルデヒド クマリン類 ラクトン類

その他芳香族系成分

芳香分子 各論

11回目 脂肪族系化合物

脂肪族系アルコール、エステル、アルデヒド 他

芳香分子 各論

12回目 各論 基礎

4～11回目で取りあげた成分以外で、精油の成分として重要な成分を取りあげます。

テルペン系炭化水素 アルコール類 他

13回目 各論 基礎

4～11回目で取りあげた成分以外で、精油の成分として重要な成分を取りあげます。

フェノール類 アルデヒド類 他

14回目 各論 応用

その他 香りの特徴成分として、調香におすすめの成分などを取りあげます

15回目 ブレンドのための化学的知識

香りの構成を知る

作用の両面から